



甲斐市議会だより

2022.7.25 No.72

令和4年7月25日発行



議会活動をわかりやすくお伝えします

がいぎかい



今月の見どころ

【特集】輝く仲間たち	2ページ
令和4年 第2回定例会	4ページ
こんなことが決まりました	5ページ
ここが聞きたい 一般質問	8ページ
初めての議会を終えて	14ページ
議長交際費・政務活動費	15ページ

コロナを乗り越える 甲斐市議会



緑と活力あふれる生活快適都市

特集 輝く仲間たち (第10回)

毎回、市内で頑張る方々に登場していただきます。
今回は、「地域おこし協力隊」です。

～地域に新しい風を～

僕らの力で 「甲斐市の魅力を掘り起こす」

地域おこし協力隊とは

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。

市が地域おこし協力隊を募集し任用し、採用された隊員は都市から地方へ移り住み、最長3年間、地域おこし活動に取り組みます。

具体的には、地域ブランドや地場製品の開発・PRや、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、任期終了後の定住を視野に入れた取り組みを行います。

甲斐市では平成29年度からこの制度を活用し、主に市の特産品の「赤坂とまと」や芋焼酎「大弐」の原料となるサツマイモの栽培を行っており、令和4年4月1日現在、3名の隊員が活躍しています。



「赤坂とまと」の収穫作業



さつまいもの補植作業

甲斐市を選んだ理由は？

佐藤 ぶどう栽培をやりたいという思いがあったのと、現地説明で実際に甲斐市を訪れたときの印象が良かったので。

内野 もともと山梨県が好きで、移住を考えていたこと。また、農業にも興味があったため。

寺沼 実家（東京）から近く、農業が盛んであり、自然（山・川・湖）がたくさんあるので。



佐藤 慧祐（さとう けいすけ） 30歳
出身地：東京都練馬区



内野 澄（うちの すみ） 23歳
出身地：埼玉県川越市

住んでみて、甲斐市の印象は？

佐藤 生活に必要な施設が充実していて、とても住みやすい場所だと思います。

内野 とても住みやすい印象です。大型商業施設なども有り、休日はよく遊びに行っています。

寺沼 都市部の地域と農村・山岳地域があり、生活と自然がとても近い印象があります。

定住についての考えは？

佐藤 「地域おこし協力隊」卒業後も、このまま定住して農家としてやっていければと思います。

内野 現在、ぶどうの栽培の勉強をしているので、将来的にはぶどうを中心とした農家になりたいです。

寺沼 定住を目標に活動しています。3年後に良いタイミングで住居と仕事があれば定住したいです。



寺沼 健斗（てらぬま けんと） 25歳
出身地：東京都新宿区



議会広報常任委員との意見交換の様子

市に望むことは？

佐藤 農家への支援がより厚くなってくると嬉しいです。

内野 若者が農業を始めやすい環境や制度の充実など。

寺沼 移住に関する補助金の手厚いとうれしいです。

令和4年 第2回臨時会

臨時会の あらまし

第2回臨時会は、議員選挙後の初議会で、5月19日の1日間の会期で開かれ、議長、副議長、各委員会委員などの選任を行いました。また、市長から専決議案および監査委員の選任など、5議案が提出され、全て原案どおり承認および選任されました。

監査委員の選任

前任者の退任（令和4年4月30日）に伴い、次の方の選任に同意しました。（※敬称略）

- 山本 英俊（新任）

甲斐市議会だより（かいぎカイ）では、第2回定例会および第2回臨時会の主な内容をピックアップして、掲載しています。また、議会ホームページで録画映像を配信していますので、こちらもぜひご視聴ください。



第2回定例会および第2回臨時会において

甲斐市のこんなことが決まりました

主な内容をピックアップしてお知らせします

竜王南小学校体育館を改修工事

議案第44号 竜王南小学校屋内運動場長寿命化改修工事 請負契約締結の件

昭和51年に建築後、築46年が経過しており、老朽化に伴う大規模改修工事を行います。

契約先	中村建設・甲信建設工業竜王南小学校屋内運動場長寿命化改修工事共同企業体
契約金額	3億6,740万円



竜王南小学校体育館

令和4年 第2回定例会

定例会の あらまし

第2回定例会は、6月15日から23日までの9日間の会期で開かれ、市長から補正予算および条例の制定など、16議案が提出されました。今定例会の一般会計の補正予算は、8億4,493万9千円の増額となり、新型コロナワクチンの4回目接種に係る経費や市立体育館等の改修経費などの予算で、全て原案どおり可決されました。また、10名の議員が一般質問を行いました。

人権擁護委員候補者の推薦

任期満了（令和4年9月30日）に伴い、次の方々の推薦に対し、同意しました。（※敬称略）

- 内松 太一（再任）
- 齋藤 清美（再任）

請願審査結果

件名	提出者	紹介議員	議決結果
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書	山梨県労働組合総連合 議長 上野 光正	松井 豊 谷口 和男	不採択

賛成討論

谷口和男 議員

実質賃金が低下する中で、物価上昇は労働者・国民の生活を脅かすだけでなく、消費者の購買力が低下し、更なる景気後退へと向かいます。この時期に最低賃金を引き上げることは絶対必要であります。

採択を求める理由は他にもあります。第一は、地域間格差の是正です。

全国一律の最低賃金の引き上げは、若い労働力の都市への流出を防ぎ、地方活性化につながります。

第二は、ジェンダー平等につながり女性の活躍する場が増えることです。

現在、女性の生涯賃金は、男性の7割程度と言われ、女性の多くが、非正規職員で低賃金の状況にあることが主な要因です。最低賃金の引き上げは、男女間収入格差の是正につながります。

第三は、大企業の内部留保を使えば中小企業支援も最低賃金1,500円の実現も可能だということです。

以上のことから、請願の採択を求める討論といたします。

※ 討論とは…表決前に、議員が議題となっている案件に対し、賛成か反対か自己の意見を表明すること。

表彰の伝達

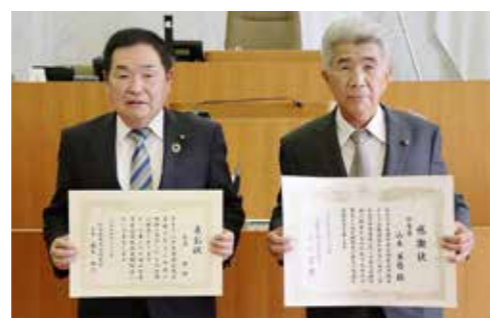
定例会の初日（6月15日）に議員表彰の伝達式を行いました。

全国市議会議長会（令和4年5月25日）

- 市議会議長会評議員を務めたことによる感謝状 山本 英俊 議員

山梨県市議会議長会（令和4年4月20日）

- 市議会議員在職10年表彰 赤澤 厚 議員



左から、赤澤 厚 議員、山本 英俊 議員

敷島・玉幡体育館、双葉ふれあい文化館を改修工事

議案第50号 令和4年度甲斐市一般会計補正予算（第1号）

老朽化に伴い、次の公共施設3施設の改修工事を行います。



敷島体育館（アスロック妻壁等改修工事、LED化、アリーナ床改修工事）



玉幡体育館（屋根・外壁改修工事）



双葉ふれあい文化館（外壁改修工事）

新型コロナワクチンの4回目接種を開始

議案第50号 令和4年度甲斐市一般会計補正予算（第1号）

4回目を接種する人は、3回目の接種から原則5か月を経過した方が対象となります。

- 対象者**
- ・60歳以上の方
 - ・18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する方、その他重症化リスクが高いと医師に認められた方

- 使用ワクチン**
- ・武田 / モデルナ社製およびファイザー社製

- 集団接種会場**
- ・敷島体育館および竜王保健福祉センター等

- 接種スケジュール**
- ・令和4年5月26日から開始しています。

子育て世帯生活支援特別給付金を支給

議案第50号 令和4年度甲斐市一般会計補正予算（第1号）

新型コロナウイルス感染症による影響の長期化に伴い、低所得の子育て世帯（ひとり親・ひとり親世帯以外）に対して、特別給付金（50,000円）支給します。

支給対象者は

ひとり親世帯

- ・令和4年4月分の児童扶養手当の支給を受けている者
- ・公的年金給付等を受給していることにより児童扶養手当の支給を受けていない者（児童扶養手当に係る支給制限限度額を下回る者に限る）
- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、収入が児童扶養手当を受給している方と同じ水準になっている者

ひとり親世帯以外

- ・令和4年4月分の児童手当または特別児童扶養手当の支給を受けている者であって、令和4年度分の住民税均等割が非課税である者
- ・上記の他、対象児童（令和4年3月31日時点で18歳未満の子、ただし、障がい児については、20歳未満）の養育者で令和4年度分の住民税均等割が非課税であるか、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、令和4年1月以降に家計が急変し、市民税均等割が非課税と同等となる者

※令和4年4月から令和5年2月末までに生まれる新生児を含む

猫の不妊・去勢手術費用を増額補助

議案第50号 令和4年度甲斐市一般会計補正予算（第1号）

県の新規補助金を活用し、令和4年度に限り、飼い主がいる・いないに関わらず全ての猫を対象に、次の金額を上限額として補助します。

手術の種類	区分	補助金額（上限額）	
		令和4年4月1日～令和5年3月31日まで	令和5年4月1日～
不妊手術	飼い猫	15,000円	5,000円
	飼い主のいない猫	16,000円	5,000円
去勢手術	飼い猫	10,000円	3,000円
	飼い主のいない猫	11,000円	3,000円

※上記補助金額は上限で、100円未満の端数は切り捨てになります。
なお、補助を受ける場合は、手術前の事前申請が必要です。

脱炭素先行地域を目指して計画策定

議案第50号 令和4年度甲斐市一般会計補正予算（第1号）

令和2年7月に「ゼロカーボンシティ」を宣言し、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指しており、今後、全国のモデル地域となる「脱炭素先行地域」を目指し、「地域脱炭素取組計画」を策定します。



「脱炭素先行地域」とは

2030年度までに家庭生活や公的機関等の電力消費に伴う二酸化炭素排出の実質ゼロを実現するとともに、運輸部門なども含めて温室効果ガス排出削減につつましても、国の2030年度の目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域のことであります。

この「脱炭素先行地域」に選出されると、再生可能エネルギー設備や省エネ設備の導入の際に、国からの支援を受けることが可能となります。

岩森橋、竜王赤坂橋、金石橋を補修工事

議案第50号 令和4年度甲斐市一般会計補正予算（第1号）

平成26年3月に「甲斐市橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、この計画により、優先順位および予算規模に応じて、順次、補修工事を行っています。



岩森橋（双葉地区）



竜王赤坂橋（竜王地区）



金石橋（敷島地区）

また、平成26年9月の道路法の改正により、市道上の2メートル以上の橋梁について、5年に一度のサイクルで近接点検が義務付けられ、対象橋梁の点検を行っています。

一般質問

ここが聞きたい

第2回定例会では、10名の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。質問と答弁を要約した内容は、次のとおりです。

なお、市議会ホームページで、一般質問の録画映像を配信していますのでご覧ください。

録画映像のQRコードはこちら



甲斐市議会 議会中継

検索

一般質問の詳細な内容については各議員のQRコードからご覧いただけます。

一般質問とは、行政全般にわたり、議員個人が執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め、または、疑問を質することをいいます。



小澤重則 (嶺新クラブ)

小中学校の給食費について

Q 昨今の世界情勢の中、食材費はもとより、あらゆる物の物価高騰により厳しい状況だが、今後の方針について。

A メニューの工夫により、給食の質や量を落とすことのないよう対応する。今後、高騰した状況が長期にわたり続いた場合は、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の活用や、現在行っている一部公費負担の金額について検討する。

Q 食材費が高騰する中ではあるが、今後、給食費の無償化を行う考えは。

A 学校給食費については、学校給食法第11条で施設や設備の経費、また、運営に要する経費以外は、保護者の負担とされている。ただし、経済的に困窮している世帯については、生活保護制度や市独自の就学援助制

度により、給食費の全額補助を実施するなど、教育の機会均等に努めるとともに、全世帯を対象とした給食費の一部について、公費負担を行っている。本市の財政負担等を考慮すると、今後も健全な財政運営のもと、安全・安心な学校給食を実施していくためには、引き続き、食材料費については、保護者の皆さまにご負担していただく予定であり、学校給食費の無償化については考えておりませんので、ご理解をお願いいたします。



その他質問事項

- 山梨県緑化センター跡地活用について
- 安全な通学路の確保



滝川美幸 (無党派)

甲斐市におけるジェンダー平等社会の実現は

Q 国においては、令和4年2月より保育士や幼稚園教諭を対象に、収入を3パーセント程度、月額約9千円の引き上げを実施する方針だが本市の現状は。

A 国が進める経済対策の一環として、保育士等の賃上げ効果が継続される取り組みを前提に、本市においても月額収入を3パーセント程度引き上げる処遇改善を実施している。

Q 保育士の労働環境に対するモニタリングの現状は。

A 公立保育園は、面談でヒアリングを行っており、指定管理の保育園は、指定管理者施設管理評価で確認し、民間は県の指導監査で調査・指導を行っている。

Q 令和4年4月現在の管理職の男女別職員数と女性の占める割合は。

A 部長級、課長級56人のうち男性43人、女性13人で女性の割合は約23.2パーセント、係長職85人のうち40パーセントが女性である。

Q 男女共同参画推進委員会からの市長への提言実施は。

A 現在、提言書・報告書を作成しており、今後、市長に提出する。

Q これからは市民の持つ能力を十分に活かせるような施策を展開していくことが必要である。市民グループへの支援は。

A 市民への協力をいただくことは重要であり、ボランティア団体やNPO法人への活動支援は引き続き行っていく。



その他質問事項

- 会計年度任用職員保育士の給与水準の改正
- 女性部長が常に一人。改善の必要がある
- 自治会の女性会長、副会長の数は
- 甲斐市女性団体連絡会の活動へ支援は



加藤敬徳 (公明党)

带状疱疹ワクチンの周知と助成

Q 国は持続可能な社会保障制度の確立を図るために、高齢化が急速に進む社会に於いては、健康寿命を延伸することにより、長寿を実現することが重要であると、健康の維持増進、疾病の予防及び早期発見等を積極的に推進することを謳っている。50歳以上の3人に1人がかかる可能性があり、日常生活に重大な支障をきたす带状疱疹の予防について、本市としてはどのように考えるかを伺う。

A 带状疱疹の発症には、免疫力の低下が大きく関係していることが確認されており、その原因として、加齢や過労そしてストレスなどが挙げられている。予防の第一歩は、過労やストレスを軽減させるために日頃から十分な休息をとり、規則正しい生活や食事を心がけることが大切であり、併せてワクチン接種による予防も有効的な方法の一つであることは承知している。

Q 带状疱疹ワクチンの効果について、本市ではどの様に考えるか伺う。

A 国立感染症研究所によると、ワクチンを接種することは、病気に対しての免疫力が高められ、発症や重症化の抑制につながると言われている。これを踏まえると、带状疱疹ワクチンにおいても一定の効果はあるものと認識している。



その他質問事項

- 地方創生臨時交付金
- 市民温泉の現状
- 甲斐市の投票率



秋山照雄 (新国会)

市道竜王田中線北部区間の整備計画は

Q 本線の市の道路整備計画の位置付けは。

A 既成市街地と幹線道路とを結ぶ路線として、整備時期を概ね5年以内に着手する路線に位置付けている。

Q 整備内容と現在の進捗は。

A 今年度、緊急車両および避難道路確保から本竜王地内140メートルの区間を幅員4メートル以上とする拡幅工事を実施。

Q 今後の計画は。

A 過去に地権者、地元住民との合意形成が図れず事業断念した経緯もあり、課題等を整理しながら整備の方向性について検討していく。

Q (仮称) 篠原地区公園整備に伴う県道整備に合わせ本線と県道の交差点付近の整備計画は。

A 本線と県道の交差点付近は狭小であるため、公園整備と合わせ整備を検討していく。

Q 市道の白線工の状況把握と計画は。

A 「甲斐市區画線等維持修繕計画」に基づき優先度に係る評価ランクを設定し年次的に整備すると共に、日頃から巡回により摩耗や剥離等の確認を行い維持管理に努めている。また、今年度から2年間にわたり、1,000万円を予算計上し、通学路に重点を置いた区画線修繕に取り組む。



市道竜王田中線

その他質問事項

- 学校運営等の今後について
- 学区の状況は
- 保育園運営の基本的な考え方は
- 今後の市立保育園の民間移行計画について



若尾彰子 (新国会)

子宮頸がんワクチン接種の積極的勧奨再開について

Q 積極的勧奨が差し控えられた時期に接種対象者であった人への接種(キャッチアップ接種)の機会確保について伺う。

A すでに対象者全員に案内通知を送付済み。キャッチアップ接種の予算は対象者の5パーセントを見込んでいたが、想定よりも多くの接種希望者がいた場合には希望者全員が接種できるように対応する。

Q 周知の方法を伺う。

A すべての対象者に案内通知を送付。併せて、広報誌、ウェブサイト情報掲載している。今後は図書館などの公共施設へのポスター掲示やSNSの活用による啓発、接種率向上に取り組む。

Q 定期接種の対象者は12～16歳の小学生、中学生となる。保健室の先生(養護教諭)がワクチン接種に関する相談を受けることは可能か伺う。

A 養護教諭は児童生徒の健康状態を把握し、必要に応じて相談を受ける。ワクチン接種に限らず健康に関することも達からの相談には適切に対応するよう、養護教諭に改めて指導する。

Q 養護教諭に対してワクチンに関する最新情報の研修などが必要と考えるが、本市の対応を伺う。

A 夏季休業中の甲斐市養護教育部の研修において子宮頸がんワクチンに関する項目を追加する。



その他質問事項

- コロナ禍での健診、予防接種等への影響





今年度の組織機構再編の目的など詳細を伺う

長谷部 集 (創政甲斐クラブ)

- Q 経営戦略課にふるさと納税推進係を新設、新たな取り組みは。
- A 企業版ふるさと納税制度の活用に取り組んでいる。また商品開発など成功事例のブラッシュアップ、返礼品協力事業者の確保、クラウドファンディングなど、新たな手法を研究している。
- Q 市民戸籍課にマイナンバーカード係を新設、今後の展望は。
- A 公民館等へ職員が出向く「出張申請サポートサービス」や自宅で受取れる「申請時来庁方式」を推進する。
- Q バイオマス推進係を脱炭素社会推進室エネルギー政策係とした。エネルギー政策の目標や今後の展望は。
- A 本市は令和2年にゼロカーボンシティを宣言、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し、現在は全国のモデル地域「脱炭素先行地域」の採択を目標にしている。
- Q 商工観光課商工労働係を商工労働・企業誘致係に改編、新たな事業展開は。
- A 下今井農工団地の活用、企業誘致に適した土地を選定、また様々な機関と連携し企業移転の情報を収集する。
- Q 葎崎インター周辺は工業団地が整備された。周辺の双葉地域の高台については可能か。
- A 葎崎は農村産業法の適用で整備されたが、双葉地区は都市開発区域の竜王・敷島との合併で農村産業法が適用されない。それ以外の方策を調査研究する。



庁舎案内板

その他質問事項

- なぜ広聴広報係を経営戦略課から秘書課に
- 庁内で行うゼロカーボン施策は
- 積極的な企業誘致、税制優遇や経費の助成は
- ルネサス再稼働について本市の立ち位置は



バイオマス産業都市構想

松井 豊 (日本共産党甲斐市議員)

- Q 構想やグリーンサマーの地域説明会でも「森林の荒廃(間伐後の林地残材・松くい虫被害木等)製材・建設廃材などの活用がうたわれている。また、運搬による二酸化炭素の排出を減らすためにも地元木材の活用が求められる。市内・近隣の木材の活用はどの程度か。
- A 本市と関係する中央森林組合500トン、峡北森林組合が3千トンで、県内で賄う燃料は計5万5千トンで、年間調達量8万トンの7割が県内から調達される見込みです。
- Q バイオマス発電は木材の性質上、発電効率は25パーセントが上限であり、70パーセント以上の熱水の活用について、①公共施設熱供給プロジェクト②熱供給

農業振興プロジェクト、また、民間の熱水活用に対応できるのか。

- A 廃熱利用は公共施設および農業ハウス等での利用を想定して、取り出せるエネルギー量や取り出し方法について業者と協議して調査しており、民間についても研究する。
- Q バイオマス発電事業の開始に伴い、市の面積の半分以上を占める森林の整備が求められる。環境面、産業面、文化面での資産活用等について、北部の総合的計画が必要だが。
- A 観光と農業を融合させた新たな振興等、総合的な検討と森林組合とも連携した林業振興等を調査検討していく。



特別委員会での視察の様子(2月)

その他質問事項

- 市民温泉施設の再開
- 新業者の運営での料金・サービス等
- 保健福祉施設等も活用した健康増進
- 液肥・堆肥活用プロジェクトの今後



(仮称) 篠原地区公園に複合施設は必要か

谷口 和男 (日本共産党甲斐市議員)

- Q ネウボラ宿泊施設の利用者数は。
- A 令和3年度は、22組の利用があった。
- Q 宿泊利用者は、出生者の3%程度の利用だ。現在、市内産婦人科で検診・相談を行っている。新たに、公園内にネウボラを核とした複合施設は必要か。
- A 市民の様々なアイデアを採り入れたいとの観点から、さまざまな機能を有した施設整備とした。
- Q 前計画は、コロナ対策で白紙撤回された。今は補償金や給付金も十分にいきわたっていない。コロナ対策に集中すべき時期だ。
- A 「アフターコロナ」を見据え公園整備をすすめる。
- Q 公園整備の初期コストは、フラワーパーク&ミュージアムの23億3,700万円に抑えるべきではないか。
- A 市民の皆様の公園整備を行う、一概に事業費のみを比較し、判断すべきでない。
- Q 示された費用概算だと、遊具や屋根付き広場を除いた建築物が約8億円から24億円とされている。前計画の美術館建設費7億2千万円より高い。費用を抑えるべきだ。
- A 基本計画を整理し、イニシャルコスト削減の観点から、施設機能効率化をはかる。



その他質問事項

- 基金の積増しより、暮らし応援に
- 再生可能エネルギーと省エネ推進
- 景観を生かした街づくり



コロナ対策について

清水 和弘 (新 政 会)

- Q ウィズコロナ・ポストコロナについて、ここにきて新型コロナウイルス感染症が減少傾向に転じてきている中で、今後の新型コロナウイルス感染症対策をパンデミック前の平穏時に戻すためどのように向き合っていくか本市の施策は。
- A 本市はこれまで基本的感染防止対策の徹底など、コロナ禍における新しい社会生活活動をしてまいりました。今後につきましては新型コロナウイルス対策本部を中心に全庁的な協働体制によりポストコロナ社会に対応した政策について積極的に意見や提案を聴取し、安心安全な市民生活の維持と、さらには行政サービスの新たな可能性の創出に向け検討を重ねてまいります。
- Q マスクについて厚労省では児童の登下校に関してマスクはしなくともよいとの推奨を示しているが、その実態について。
- A 本市の小中学校に於きましては、文部科学省や県教育委員会の通知に従い、熱中症リスクが高い夏場においては、登下校時にマスクを外すよう指導するなど、熱中症対策を優先し、マスクの着用は必要ないとしております。様々な理由からマスクの着用を希望する児童に対しても適切な配慮をするよう指導してまいります。



小学校の登校の様子

その他質問事項

- ビヨンドコロナについて
- 接種証明書について
- 「誰一人取り残さない」について
- 二拠点移住について



木質バイオマス事業の進捗状況は

金丸 寛 (無 会 派)

- Q 昨年と今年(5月)、2回説明会を行ったが、一般市民および市内立地企業者の参加が認められなかった理由は。
- A 発電所近隣の8自治会に対し、1自治会あたり最大10名を選出いただき開催した。説明会参加者を限定した理由は、新型コロナウイルス感染症予防対策を考慮したことによるものである。
- Q 市内立地企業者は把握しているか。
- A 住民説明会の内容は、広く周知するために市ウェブサイトで公開しているため、市内立地企業者のみならず、市民の皆さまが事業内容等を確認できる状況であります。
- Q 環境アセスメントの原本開示と公開閲覧を要求したい。
- A 事業者が実施した環境アセスメントの成果品は、事業者に帰属し、一部に設備メーカーの技術的な要素も含むため、原本の開示や閲覧は予定していないとのことです。
- Q 木材(年間8万トン)の調達用途は約70パーセントだと聞いているが、残りの材はどこから集めるのか。
- A 商業運転開始時点で、年間8万トンのチップを燃料として使用する予定で、概ね70パーセントである5万5千トンを県内木材で賄い、残り2万2千トンは、本県に隣接する1都4県の木材を使用する計画となっている。



バイオマス発電所建設予定地

その他質問事項

- 原発事故で汚染された材が使われる心配は
- 長野県飯山市が拒否した理由は
- 旧緑化センター入口の土地購入
- 市議選の投票率の低さ



特集『輝く仲間たち』への掲載記事募集中

市内で活動している方(団体)であれば、年齢・性別・職種等を問わず、活動内容を掲載することが可能です。詳しくは、市議会ホームページまたは、議会事務局まで問い合わせください。



甲斐市議会事務局 庶務・議事係
TEL 055 (278) 1673

委員会構成・一部事務組合 議会議員が決まりました

委員会構成

● 総務教育常任委員会

秘書課、総合戦略部、総務部、市民部（市民戸籍課、税務課、収納課）、生活環境部（市民活動支援課）、防災危機管理監、会計課、議会事務局、教育委員会など

【所管事項】

市の総合的な政策、ふるさと納税、財政、契約、選挙、情報公開、財産、マイナンバーカード、消防、防災、学校教育、社会教育などに関すること



左から、松井 豊 委員、藤原 正夫 委員、清水 和弘 委員長、滝川 美幸 副委員長、内藤 久歳 委員、安倍 健治 委員

● 厚生環境常任委員会

市民部（保険課）、生活環境部（環境課、脱炭素社会推進室）、福祉部、子育て健康部

【所管事項】

社会福祉政策、生活保護、高齢者、障がい者、児童、母子福祉、介護保険、保育、健康の増進、保健、国民健康保険、年金、環境、衛生、新型コロナウイルス感染症対策などに関すること



左から、保坂 康 委員、山本 英俊 委員、金丸 幸司 委員長、秋山 照雄 副委員長、谷口 和男 委員、若尾 彰子 委員

● 建設経済常任委員会

産業振興部、都市建設部、公営企業部、農業委員会

【所管事項】

道路、河川、都市計画、公園、下水道、農業集落排水、上水道、農林業、農村振興、商工業、労働行政、観光、企業誘致などに関すること



左から、加藤 敬徳 委員、小澤 重則 委員、長谷部 集 委員長、伊藤 毅 副委員長、金丸 寛 委員、樋口 孝之 委員

● 議会広報常任委員会

- 委員長 伊藤 毅
- 副委員長 加藤 敬徳
- 委員 若尾 彰子 ・ 保坂 康
- 委員 谷口 和男 ・ 小澤 重則

■ 常任委員会とは

議案や請願などを詳しく審査するために、常設されている委員会です。4常任委員会が設置され、任期は2年で、議員は少なくとも1つの常任委員会に所属します。

議会議員が決まりました

● 議会運営委員会

- 委員長 内藤 久歳
- 副委員長 秋山 照雄
- 委員 樋口 孝之 ・ 清水 和弘 ・ 金丸 幸司 ・ 松井 豊
- 委員 長谷部 集 ・ 藤原 正夫

■ 議会運営委員会とは

議会を円滑に運営するため、議会運営の全般について、協議・調整を図るために設置されている委員会です。

● 議会改革特別委員会

- 委員長 長谷部 集
- 副委員長 清水 和弘
- 委員 若尾 彰子 ・ 加藤 敬徳 ・ 秋山 照雄 ・ 滝川 美幸 ・ 小澤 重則 ・ 松井 豊 ・ 内藤 久歳

● バイオマス産業都市構想特別委員会

- 委員長 加藤 敬徳
- 副委員長 長谷部 集
- 委員 安倍 健治 ・ 保坂 康 ・ 樋口 孝之 ・ 伊藤 毅 ・ 金丸 寛 ・ 小澤 重則 ・ 松井 豊

● 山梨県緑化センター跡地活用特別委員会

- 委員長 秋山 照雄
- 副委員長 金丸 幸司
- 委員 若尾 彰子 ・ 谷口 和男 ・ 清水 和弘 ・ 滝川 美幸
- 委員 山本 英俊 ・ 内藤 久歳 ・ 藤原 正夫

■ 特別委員会とは

特定の事柄について、専門的に審査・調査するために、必要に応じて設置される委員会です。任期は審議が終了するまでの間で、3特別委員会の他に、当初予算や決算を審査する際にも設置されます。

一部事務組合議会議員

● 甲府地区広域行政事務組合

- 議員 若尾 彰子 ・ 樋口 孝之 ・ 伊藤 毅 ・ 小澤 重則 ・ 松井 豊 ・ 内藤 久歳

● 中巨摩地区広域事務組合

- 議員 加藤 敬徳 ・ 谷口 和男 ・ 清水 和弘 ・ 山本 英俊

● 峡北広域行政事務組合

- 議員 安倍 健治 ・ 保坂 康 ・ 秋山 照雄 ・ 赤澤 厚

● 山梨西部広域環境組合

- 議員 長谷部 集 ・ 藤原 正夫

● 峡北地域広域水道企業団

- 議員 金丸 幸司

● 山梨県後期高齢者医療広域連合

- 議員 金丸 寛

■ 一部事務組合とは

複数の市町村等が、行政サービスの一部を共同で行うことを目的として設置した組織です。

■ 広域連合とは

複数の市町村等が、広域的な事務を効率的に処理するために設置した組織です。

初めての議会を終えて

～新人議員の思い～

4月24日の市議会議員一般選挙で新たに4名の新人議員が誕生。初めての議会を終えての感想等を伺いました。

初めての議会を経験しての感想は

若尾 無事に初めての定例会を終えることができ、看護師の経験から初めて一般質問をしました。公の場で議員として発言することの意味と発言の重さを感じています。

安倍 議会デビュー戦。プロレスのデビュー戦の時とはまた違った緊張感。議会に出席し、市議会議員としての一歩を踏み出したと強く感じました。そして、また、とても勉強になりました。

保坂 初議会に参加し、先輩議員の質問を聞き、市政に対する思いが伝わってきました。もっと、市政に関わり、有意義な質問ができるよう、勉強が必要であると感じました。

樋口 正直なところ、大変緊張し、精神的にもとても疲れしました。また、先輩議員の一般質問を聞き、まだまだ勉強不足と感じました。



左から
安倍 健治 議員、若尾 彰子 議員、保坂 康 議員、樋口 孝之 議員

市民の代表として、これからの議会活動に対する抱負を一言

若尾 今回の質問は市民の方からご相談を受け、それぞれの立場からご意見をいただき、市民の方々と一緒にすることができました。今後とも皆様の声を市政へ届けていきます。

安倍 市民の皆さまから議員として選んで頂いたことを胸に、今後は市民の皆さまの声や改善していくべき所を受け止め議会へ臨んでいく所存でございます。

保坂 これまで、福祉・介護分野に携わる仕事をしていたので、この分野を中心に市民の皆さまのためになる活動を続け、市民の皆さまが安心して生活できる市政に努めます。

樋口 議会内での質疑や質問を通じて、市民の皆さんが安全・安心に生活できるよう、政策のチェックをおこない、政策の立案・提言ができるよう頑張ります。

新人議員研修会を開催しました

5月26日、27日に新人議員研修会を開催し、各担当から所管業務内容や令和4年度主要事業などについて、説明がなされました。

また、議会事務局からは、本会議や委員会での審査の流れや、一般質問、代表質問の方法などの説明があり、理解を深めました。

これらの研修を踏まえ、6月に開催した第2回定例会では、若尾議員が一般質問に立ちました。



新人議員研修会の様子

令和3年度 議長交際費執行状況

議長交際費は、議長が議会を代表して外部団体などと交際をするための費用で、慶事・弔事・会費などに支出しています。令和3年度の議長交際費の内容をお知らせします。

日付	支出基準	支出内容	支出額
4月	弔 慰	甲府市長 御尊父 香典	5,000円
5月	弔 慰	山梨県議会議長 御母堂 香典	5,000円
	弔 慰	中巨摩地区広域事務組合議員 御尊父 香典	5,000円
6月	弔 慰	上野原市議会議長 香典	10,000円
7月		支出なし	
8月		支出なし	
9月	その他	朝日新聞広告掲載料（日本航空高等学校応援広告）	11,000円
	弔 慰	元竜王町議会議員 香典	10,000円
10月	弔 慰	市議会議員 御母堂 香典	5,000円
11月	儀 礼	甲斐市山梨県人会年会費	1,000円
12月		支出なし	
1月		支出なし	
2月	弔 慰	元市議会議員 生花	15,000円
	弔 慰	元市議会議員 香典	20,000円
3月	弔 慰	元市議会議員 生花	15,000円
	弔 慰	元市議会議員 香典	20,000円
支 出 合 計			122,000円

令和3年度 議会政務活動費の収支報告

期間：令和3年4月から令和4年3月（交付額：議員1人あたり月額10,000円）

会派名	年度末人数	交付額(万円)	決算額(万円)	返納額(万円)	使 途 内 容
創政甲斐クラブ	4人	48	29.4	18.6	広聴・広報費 広報（1回：新聞折込等） 資料購入費 参考図書
新 政 会	4人	48	38.6	9.4	広聴・広報費 広報（1回：新聞折込等）
颯新クラブ	3人	36	36	0	調査研究費 鹿児島県：南九州市〔知覧特攻平和会館 視察〕、南さつま市〔産業廃棄物処理場 視察〕 熊本県：人吉市、球磨村〔災害現場、仮設住宅 視察〕、熊本市〔熊本城災害復興状況 視察〕 佐賀県：武雄市〔武雄市立図書館、武雄市役所・お結び課 視察〕
公 明 党	3人	36	25.7	10.3	調査研究費 愛知県：豊橋市〔豊橋市こども若者総合相談支援センター「ココエール」 視察〕 神奈川県：大和市〔大和市文化創造拠点「シリウス」 視察〕 研修費 地方議会総合研究所 オンラインセミナー 資料購入費 参考図書、新聞
甲斐市民クラブ	3人	36	36	0	調査研究費 鹿児島県：南九州市〔知覧特攻平和会館 視察〕、南さつま市〔産業廃棄物処理場 視察〕 熊本県：人吉市、球磨村〔災害現場、仮設住宅 視察〕、熊本市〔熊本城災害復興状況 視察〕 佐賀県：武雄市〔武雄市立図書館、武雄市役所・お結び課 視察〕
進 和 会	2人	24	15.3	8.7	資料作成費 消耗品（文具、コピー用紙等） 資料購入費 参考図書
日本共産甲斐市議団	2人	24	24	0	広聴・広報費 広報（3回：新聞折込等）

議会広報常任委員会の紹介

5月19日に新しい議会広報常任委員会委員が選任され、今号から新たな委員での発行となります。

甲斐市議会だより「かいギカイ」は、各定例会後に年4回（1月、4月、7月、10月）発行し、議会活動の様子をお知らせしております。

今後も市民の皆さまに議会を身近に感じ、議会活動をより理解していただきますよう、見やすい、読みやすい、分かりやすい紙面づくりに心掛けて参りますので、引き続き、ご愛読をよろしくお願いいたします。



左から

保坂 康 委員、小澤 重則 委員、伊藤 毅 委員長、加藤 敬徳 副委員長、谷口 和男 委員、若尾 彰子 委員

議会を傍聴してみませんか！

手続きは簡単です。本会議および委員会の当日、傍聴人名簿に氏名・住所・年齢を記入していただくだけです。議会を傍聴することは市政を知る良い機会ですので、ぜひお越しください。

なお、現在は、新型コロナウイルス感染症対策のため、傍聴制限をかけることもありますので、ご確認ください。

令和4年 第3回定例会 の日程（予定）

※日程等に変更がある場合
もあります。

※傍聴に際し、手話通訳が
必要な方は、障がい者支
援課へお申込みください。

TEL.055-267-7287
FAX.055-276-2113
メール: kai-shuwa@i.softbank.jp

日	月	火	水	木	金	土
9/11	12	13 本会議 (一般質問) 10:00	14 本会議 (一般質問) 10:00	15 本会議 (一般質問) 10:00	16 厚生環境常任委員会 9:30 建設経済常任委員会 13:30	17
18	19	20 総務教育常任委員会 9:30	21 委員会予備日	22 本会議(採決) 10:00	23	24
25	26 決算審査特別 委員会 9:30	27 決算審査特別 委員会 9:30	28 決算審査特別 委員会 9:30	29 決算審査特別 委員会 9:30	30 決算審査特別 委員会 9:30	10/1
2	3 委員会予備日	4 本会議(採決) 15:00	5	6	7	8

甲斐市商工会「かいてき住まいの応援団」相談窓口

住まいのお困りごとは、信頼の地元業者で！

家のリフォームから、
造園・外構・快適住環境整備まで
あらゆる住まいの相談にお応えします！
ご相談は、商工会へ！



【ご相談窓口】 甲斐市商工会 経営支援課
甲斐市篠原2710-1 ☎055-276-2385
<http://www.kai-shokokai.jp/sumai/>



有料
広告

引越しのお手伝い致します

不用品の買取・回収・販売

★ゴミの片付け・遺品整理も致します。

リサイクル 登美の坂

甲斐市龍地 88-1 (年中無休)

☎0551-28-6262

出張回収にも伺います！お気軽にお電話ください。

議会広報常任委員会

委員長 伊藤 毅	委員 保坂 康
副委員長 加藤 敬徳	委員 谷口 和男
委員 若尾 彰子	委員 小澤 重則

この有料広告に関する掲載基準や申込書などは、市議会HPに掲載しています。(1枠につき1回2万円)

甲斐市議会のQRコードはこちら ▶

